

# アルミ製軽量アサガオ(折りたたみ式)

## 【 4 大 特 徴 】

- 1 脅威の軽量化を実現しております。従来からの鋼製アサガオに比べ可動部で約40%軽量化。
- 2 高い作業安全製を確保。軽量化と折りたたみ式により、組立・解体が2人で行えます。
- 3 部分折りたたみが可能で便利。スパン毎に独立した折りたたみ方式。
- 4 全開状態の上部開口部で安全。上部開口部は吊り材がなく全開状態。

- キャッチャーAタイプ用として開発されたアサガオをBタイプに使用できるか検証してみました。
- キャッチャーBタイプ用をご利用のお客様は参考にして下さるようお願い申し上げます。

## CatB へのアサガオ施工の検証【コーナー 及び直線部】



全景 施工状態において大きな問題はない。アサガオの角度も全開状態で水平に対し35° あり、施工基準の20° 以上はクリアしている。が...

## 問題点① セット時に斜材受金具と斜材のかぶりが非常に少ない



CatB(475mmピッチ)で施工する関係上、CatAに比べ縦方向の高さが4コマで100mm伸びていることに起因すると考えられる。

対策① 斜材受金具の施工位置を100mm上にセットする。

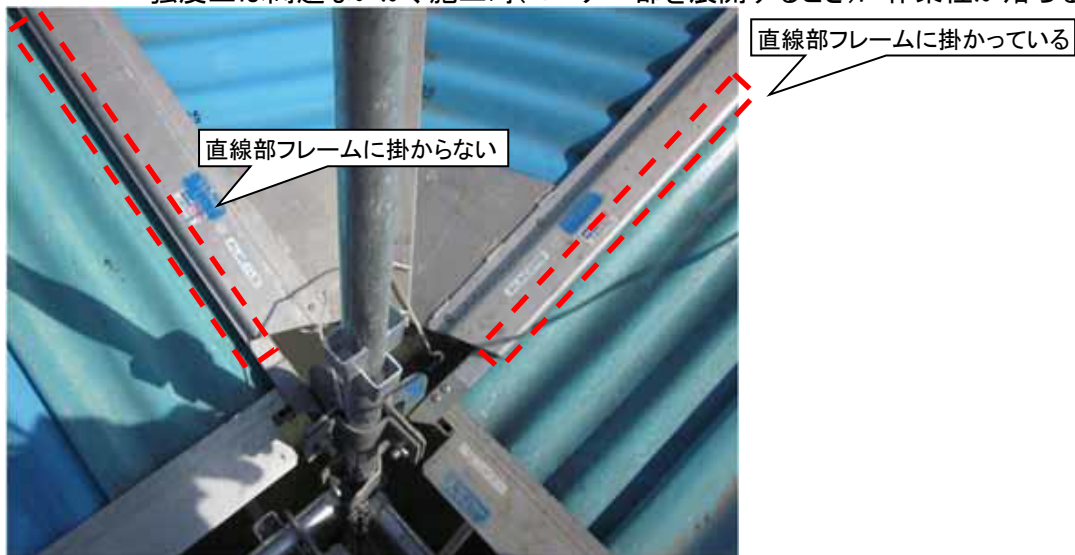
→ ただし水平が出しづらい上、クランプ1点支持(CatAはクランプと横材での2点支持)となる。

対策② 斜材受金具のチャンネルの高さを高くする。

→ 根本解決にならない(後述)

**問題点② コーナーフレームと直線部フレームのかぶりが一定とならない**

強度上は問題ないが、施工時(コーナー部を展開するとき)に作業性が落ちる。



本問題も、クサビピッチの違いにより生じるものと推察。

対策① 上記 問題点①にもあったが斜材受金具の施工位置を100mm上にセットすれば本問題は生じないと思われる。

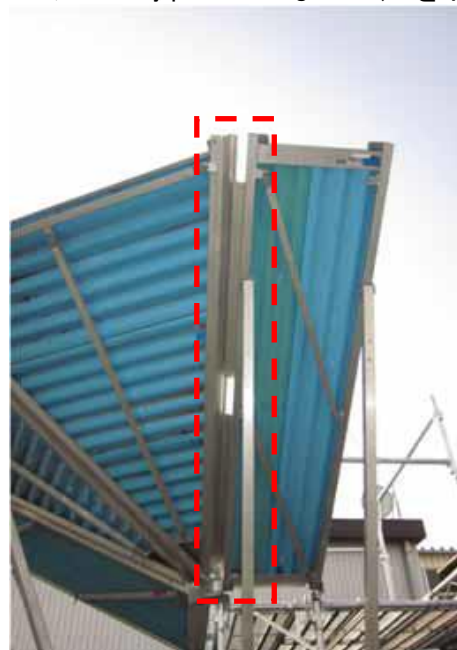
問題点①の対策②では、本問題は解決しない。

○ フレームに掛かっているコーナーを下から見た状態



下から見ても隙間がない

○ フレームに掛かっていないコーナーを下から見た状態



下から見ると隙間が目立つ

【その他気づいた点】



横材にブラケットを用いた場合、斜材受金具のクランプ部と干渉し打ち込めない可能性がある。



施工方法によっては主材受け金具と踏板が干渉しフックが掛からない可能性がある。

同じ部分を上から撮影

